

としよのかぜ

宇部市立藤山小学校
令和8年 9月 第5号

10月27日から11月9日までは秋の読書週間です

戦後まもない1947年に、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」という目標を掲げて始まったこの運動は、今年は記念すべき第80回を迎えます。期間中は、全国の図書館や書店、学校などで様々な読書のイベントが開催されます。

藤山小学校でも給食時間に、放送での図書委員会による読み聞かせ等を計画中です。どんな物語が放送で流れるか、楽しみに待っておいてください。

新書が入りました

1学期に児童の皆さんが選んでくれた本が入っています。ぜひ学校図書館に足を運んでみてください。本が見つからない時には、遠慮なくカウンターまでお気軽にお尋ねください。



がっこうとしょかん 学校図書館クイズ



(問題)『三びきのやぎのがらがらどん』のお話のなかに出てくる、はしの下にすんでいるのは
なんでしょう。また、どんなすがた、かたちをしているでしょう。



クイズの答えは学校図書館入り口付近に貼っておきます。ぜひ答えを見つけてみてくださいね。

ほっと一息コラム



学校図書館の歴史 ～師範学校と図書館科～

1920年まで館長を務めた山口県立図書館長の佐野友三郎は、アメリカへの視察後、様々な施策を行いました。巡回文庫の実施、夜間図書館の開館、児童閲覧室の開設などがその例です。中でも、児童閲覧室の開設は、日本で最初だと言われています。

また1916年から6年間、室積師範学校(今の山口県光市)において、未来の教師に図書館科を指導するということが行われていました。こうした図書館の発展が期待される中、1924年、「教科書類似の図書の使用」を禁止する通牒が出され、教科書以外の本の使用は禁止になり、学校図書館発達の芽は摘まれることになりました。

(出典: 日本図書館協会編/1993『近代日本図書館の歩み』本篇 日本図書館協会 pp.351-360)